



ひきこもりケースの アセスメントを学ぶ

講師

近藤 直司 先生

(大正大学心理社会学部臨床心理学科教授:精神科医)

【略歴】

東海大学医学部卒業後、東海大学医学部精神科学教室、神奈川県立精神医療センターで勤務。山梨県立精神保健福祉センター所長(山梨県中央児童相談所副所長を兼任)、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長を経て、2014年より現職。

主な著書:「青年のひきこもり」(共編,岩崎学術出版社,2000)、「ひきこもりケースの家族援助」(編著,金剛出版,2001)、「アセスメント技術を深めるハンドブック」(単著,明石書店,2014)、「不安障害の子どもたち」(編著,合同出版,2014)、「アセスメント技術を高めるハンドブック 第2版」(単著,明石書店,2015)、「こころの医学入門」(共編,中央法規,2017)、「青年のひきこもり・その後」(単著,岩崎学術出版社,2017)。

日時

2019年3月9日(土)

13時30分~16時40分

[受付開始は13:10より]

場所

アステ川西

6階

アステホール

参加費

無料

定員

100名

(先着順)

対象

教育・医療・保健・
福祉・就労支援等の
領域に従事する専門職

阪急梅田より急行で20分

阪急宝塚線「川西能勢口」駅徒歩3分

JR福知山線「川西池田」駅徒歩6分



後援: ★大阪府 ★兵庫県 ★川西市 ★大阪大学大学院・連合小児発達学研究所 ★公益社団法人子どもの発達科学研究所 ★医療法人社団青心会 わたなべメンタルクリニック





研修会の趣旨

ひきこもりが様々な要因の複合的な結果と考える捉え方は、どのような立場にある支援者にとっても、ほぼ共通の理解と言えます。そして、ひきこもり支援においてそのアセスメントが重要であることは、様々な成書やガイドライン等で強調されるところです。しかし、「その背景に何があるかを見極める」「何がひきこもりをもたらしたのか解明することは極めて重要」といったことは指摘されても、それでは実際に何をどのようにアセスメントしてゆけばよいのかということは、ほとんど提示されないような現状があります。アセスメントといっても、せいぜい、現状把握や家庭環境・生育歴等の把握について言及される程度でしょうか。

今回は、長年にわたり、精神分析的な観点からのパーソナリティ形成の側面や、発達障がい特性の把握、家族支援や集団的アプローチも含め、幅広い視点で、統合的包括的な支援に取り組みられて来られた、近藤直司先生（大正大学教授・精神科医）が提案される「ひきこもりケースの包括的アセスメント（Global Assessment for Social Withdrawal, GAW）」について、学びます。

参考文献と事例募集について

★参考文献としては、「青年のひきこもり・その後 ー包括的アセスメントと支援の方法論」（岩崎学術出版社）が基本的なテキストになります。

★事例の提出者も3名募集致します。守秘性には最大限の配慮を致します。奮ってご応募ください。

申込み方法

お申し込みは、件名を「PRISM設立4周年記念特別研修会申込」とし、
①氏名 ②住所（市町村のみ） ③ご所属（勤務先） ④職種 ⑤電話番号 ⑥この研修会をどこで（何で）知ったか、その他、事例提出希望・質問事項等をご記入の上、
cocoro.to.career@gmail.com までメールにてお申し込みください。

（1週間程度で、申込受領の返信メールがない場合は、再度ご連絡ください。）

今回は、専門職向けの研修会で、一般市民の方は対象となりません。ご理解のほどお願い申し上げます。

当法人では、ひきこもりや発達障がいに特化した地域活動支援センターの立ち上げを予定しています。診断閾値下の発達特性をも短時間の心理アセスメントによって把握する独自の方法に定評があります。「ひきこもりと発達障がいを考える研究会」や「精神科領域における発達障がいを考える研究会」も定例的に開催致します。

いずれかにご関心がおありの方は、是非ご連絡ください。（申し込みメールに追記ください。）

この研修会は、大阪府福祉基金平成30年度地域福祉振興助成金の交付を得て開催しております。



一般社団法人 ころとキャリアの発達支援推進機構 PRISM

〒563-0046 大阪府池田市新町2-14 いけだピアまるセンター2F 6号室 TEL: 070-5657-0556

HP: <http://cocoro-to-career.wix.com/home>

E-mail: cocoro-to-career@zeus.eonet.ne.jp

特別顧問：片山 泰一（大阪大学大学院・連合小児発達学研究科教授、大阪府[発達障がい関連分野]特別参与）

代表理事：横田 裕幸（臨床心理士、元・大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさかスーパーバイザー
元・大阪労働局発達障害者専門指導監、元・追手門学院大学心理学部非常勤講師 ほか）

